

事業報告書

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引受)

区分		項目	組合員数 (延)	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要
			人	a	kg	円	円	円	円	
水稲 (平成27年産)	一筆方式	東部	4,951	213,748.3	7,165,817	1,248,762,823				
		高松	7,249	339,158.3	11,058,244	2,083,449,346				
		小豆	329	9,743.0	283,038	54,343,296				
		中讃	4,373	251,208.9	8,375,657	1,596,780,876				
		仲多度	2,865	246,851.9	8,464,971	1,611,620,133				
		三豊	5,896	289,245.1	10,025,772	1,880,204,608				
		計	25,663	1,349,955.5	45,373,499	8,475,161,082	37,904,187	20,010,177	57,914,364	
麦 (平成27年産)	一筆方式	小豆	1	9.8	183	4,758				
		中讃	3	743.3	16,659	2,352,700				
		仲多度	2	375.9	6,843	904,785				
		小計	6	1,129.0	23,685	3,262,243	108,618	68,776	177,394	
	災害収入共済方式	東部	59	28,165.6		84,437,799				経営所得安定対策との データ照合に伴い、第 3回通常総代会以降に 引受変更が発生した。
		高松	202	69,502.5		262,442,640				
		中讃	116	57,066.7		216,860,810				
		仲多度	143	66,713.3		289,390,061				
		三豊	171	28,521.6		106,230,866				
		小計	691	249,969.7		959,362,176	37,732,803	31,951,083	69,683,886	
計	697	251,098.7		962,624,419	37,841,421	32,019,859	69,861,280			
麦 (平成28年産)	一筆方式	小豆	1	9.8	208	4,992				
		仲多度	2	673.7	13,707	1,766,270				
		小計	3	683.5	13,915	1,771,262	32,072	17,667	49,739	
	災害収入共済方式	東部	58	30,465.9		91,825,573				
		高松	154	66,162.9		251,325,436				
		中讃	127	57,016.3		225,398,978				
		仲多度	160	64,477.0		279,935,392				
		三豊	106	28,603.7		109,332,047				
		小計	605	246,725.8		957,817,426	26,428,151	18,737,485	45,165,636	
	計	608	247,409.3		959,588,688	26,460,223	18,755,152	45,215,375		

(参考)

水稲	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	99.6%	96.3%	96.7%	91.8%	67.2%
事業計画対比		97.1%	97.6%	95.0%	154.5%
10 a 当たり			336kg	62,781円	
1組合員当たり		52.6a	1,768kg	330,248円	

麦	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	87.2%	98.5%		99.7%	64.7%
事業計画対比		109.5%		110.5%	111.5%
10 a 当たり				38,785円	
1組合員当たり		406.9a		1,578,271円	

【水稲】

米の生産数量目標面積の減少及び栽培農家の高齢化に伴い、引受戸数は93戸減少の25,663戸（前年対比99.6%）となった。引受面積は523ha減少の13,499ha（同96.3%）、共済金額は7億5,651万円減少し84億7,516万円（同91.8%）となった。

また、品種別引受面積割合は、普通期「ヒノヒカリ」38.1%、早期・短期「コシヒカリ」36.6%、この2品種で74.7%となっている。

【麦】

経営所得安定対策の交付対象者の見直しに伴い、引受戸数は89戸減少の608戸（前年対比87.2%）となった。引受面積は36ha減少し2,474ha（同98.5%）。共済金額は303万円減少し9億5,958万円（同99.7%）となった。

一筆方式では、引受戸数は2戸減少の3戸。引受面積は4ha減少の6ha（同60.5%）となり、共済金額は、149万円減少の177万円（同54.3%）となった。

災害収入方式では、引受戸数は88戸減少の459戸（83.9%）となった。引受面積は32ha減少し2,467ha（同98.7%）となった。共済金額は154万円減少し、9億5,781万円（同99.8%）となった。

(被害)

区分		項目	被 害 組合員数(延)	共済減収量 又は減収量	共済金	共済金		摘 要
						共済金額	%	
水 稻	一 筆 方 式	東 部	164	34,425	5,709,240	0.5		
		高 松	207	36,492	7,006,464	0.3		
		小 豆	71	7,584	1,456,128	2.7		
		中 讃	137	23,835	4,576,320	0.3		
		仲多度	123	37,017	6,698,904	0.4		
		三 豊	256	51,405	9,769,600	0.5		
		計	958	190,758	35,216,656	0.4		
麦 (平成27年産)	一 筆 方 式	小 豆	0	0	0	0.0		
		中 讃	0	0	0	0.0		
		仲多度	1	53	7,632	0.8		
		小計	1	53	7,632	0.2		
	災害収入共済方式	東 部	30	75,968	4,374,382	5.2		
		高 松	104	299,518	21,480,918	8.2		
		中 讃	32	111,799	7,992,890	3.7		
		仲多度	79	295,119	12,579,683	4.3		
		三 豊	80	115,727	9,084,027	8.6		
		小計	325	898,131	55,511,900	5.8		
計	326	898,184	55,519,532	5.8				

【水稲】

6月から天候不順が続き、7月中旬までの日照不足で生育が阻害された。7月16、17日の台風11号の影響により穂ずれや不稔粒が見受けられた。また、8月以降の局地的な降雨により早期、短期作の一部で倒伏被害が発生した。

また、普通期作では田植え後にスクミリンゴガイの被害が多く見られた。

病害では穂イモチ病や紋枯病が発生したほか、スズメ、カラスによる被害、山間部ではイノシシによる被害も発生している。

【麦】

播種期の降雨により播種が遅れた圃場があったほか、練り播きとなったところでは発芽不良耕地が発生した。その後、3月から4月にかけての多雨による過湿のため根腐れが発生し、一部で充実が悪いまま枯れ熟れとなり、減収につながった。また、5月中旬の台風6号に伴う風雨の影響で倒伏等が見られたほか、一部地域においてカモ、スズメによる被害が発生した。

(支払)

区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金
水 稻			平成27年12月17日	35,216,656	0	35,216,656	0	0	0	100
麦	一筆		平成27年8月28日	7,632	0	7,632	0	0	0	100
	災害収入		平成27年11月24日	55,511,900	0	55,511,900	0	0	0	100
計				90,736,188	0	90,736,188	0	0	0	100

(2) 家畜共済関係

(引受)

区分	項目	有資格 頭数	事業計 画頭数	引受 頭数	引受頭数	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要
					事業計 画頭数					
乳用成牛	東部	1,542	1,530	1,542	100.8	332,748,624	乳用牛計	22,604,655	118,163,212	
	高松	1,534	1,560	1,534	98.3	350,208,069				
	小豆	73	70	63	90.0	18,606,535				
	中讃	122	120	122	101.7	30,319,429				
	仲多度	733	770	733	95.2	125,033,700				
	三豊	732	750	732	97.6	170,664,161				
	計	4,736	4,800	4,726	98.5	1,027,580,518				
乳用子牛	東部	217	180	217	120.6	18,725,203	乳用牛計	22,604,655	118,163,212	
	高松	133	150	133	88.7	13,094,669				
	小豆	4	10	2	20.0	249,600				
	中讃	15	10	15	150.0	1,602,860				
	仲多度	98	70	98	140.0	7,379,900				
	三豊	68	70	68	97.1	7,780,408				
	計	535	490	533	108.8	48,832,640				
乳用胎児	東部	1,794	1,750	1,794	102.5	127,076,046	乳用牛計	22,604,655	118,163,212	
	高松	1,610	1,550	1,579	101.9	99,109,311				
	小豆	88	70	78	111.4	9,074,865				
	中讃	135	120	135	112.5	9,950,941				
	仲多度	933	970	933	96.2	37,086,500				
	三豊	778	790	778	98.5	58,897,231				
	計	5,338	5,250	5,297	100.9	341,194,894				
肥育用成牛	東部	2,206	1,930	2,206	114.3	356,253,851	乳用牛計	22,604,655	118,163,212	
	高松	1,724	1,790	1,724	96.3	356,177,586				
	小豆	409	410	404	98.5	129,365,390				
	中讃	1,024	750	764	101.9	194,423,468				
	仲多度	4,239	4,150	4,237	102.1	672,816,300				
	三豊	7,170	6,700	7,170	107.0	1,438,688,591				
	計	16,772	15,730	16,505	104.9	3,147,725,186				
肥育用子牛	東部	206	240	206	85.8	16,388,389	乳用牛計	22,604,655	118,163,212	
	高松	1,003	400	903	225.8	80,534,348				
	小豆	11	10	11	110.0	1,849,830				
	中讃	43	50	43	86.0	3,930,044				
	仲多度	152	210	150	71.4	11,069,400				
	三豊	190	130	190	146.2	17,385,916				
	計	1,605	1,040	1,503	144.5	131,157,927				
他肉成牛	東部	68	70	68	97.1	26,450,600	肉用牛計	18,079,807	98,187,077	
	高松	729	700	729	104.1	178,899,253				
	小豆	72	70	72	102.9	22,580,325				
	中讃	105	80	105	131.3	37,798,382				
	仲多度	213	160	206	128.8	57,197,850				
	三豊	422	390	422	108.2	111,760,743				
	計	1,609	1,470	1,602	109.0	434,687,153				
他肉子牛	東部	4	10	4	40.0	556,200	肉用牛計	18,079,807	98,187,077	
	高松	73	40	73	182.5	7,659,233				
	小豆	7	20	7	35.0	1,141,570				
	中讃	0	0	0	-	-				
	仲多度	30	20	16	80.0	1,514,500				
	三豊	4	10	4	40.0	593,700				
	計	118	100	104	104.0	11,465,203				
他肉胎児	東部	65	60	65	108.3	7,894,300	肉用牛計	18,079,807	98,187,077	
	高松	793	760	793	104.3	64,589,925				
	小豆	88	70	88	125.7	9,699,220				
	中讃	116	80	116	145.0	12,808,803				
	仲多度	227	160	208	130.0	16,527,300				
	三豊	463	420	463	110.2	36,820,250				
	計	1,752	1,550	1,733	111.8	148,339,798				
一般馬	東部	2	2	2	100.0	136,800	肉用牛計	18,079,807	98,187,077	
	高松	1	1	1	100.0	72,000				
	計	3	3	3	100.0	208,800				
							18,243	614	18,857	

区 分	項 目	有資格 頭 数	事業計 画頭数	引 受 頭 数	引受頭数	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘 要
					事業計 画頭数					
種 豚	東 部	920	300	620	206.7	34,720,000				
	高 松	50	50	-	-	-				
	小 豆	2	-	2	-	124,800				
	中 讃	1,448	-	718	-	28,720,000				
	三 豊	942	450	842	187.1	14,851,800				
	計	3,362	800	2,182	272.8	78,416,600	1,453,039	-174,127	1,278,912	
肉豚 (群単位)	東 部	-	-	-	-	-				
	高 松	-	-	-	-	-				
	小 豆	-	-	-	-	-				
	中 讃	-	-	-	-	-				
	仲多度	-	-	-	-	-				
	三 豊	4,014	4,000	4,014	100.4	54,590,400				
	計	4,014	4,000	4,014	100.4	54,590,400	3,905,622	-651,216	3,254,406	
肉豚 (農家単位)	東 部	6,900	-	-	-	-				
	高 松	500	500	-	-	-				
	中 讃	13,233	1,600	9,533	595.8	129,648,800				
	三 豊	6,005	1,500	1,505	100.3	20,400,000				
	計	26,638	3,600	11,038	306.6	150,048,800	57,620	-10,355	47,265	
種 雄 牛	東 部	-	1	-	-	-				
	計	-	1	-	-	-	-	-	-	
合 計		66,482	38,834	49,240	126.8	5,574,247,919	181,100,351	39,849,378	220,949,729	(交付金 39,920,377) (納入保険料 70,999)

引受の概況

畜産物価格は上昇しているものの、飼料価格の高止まり、肥育素牛価格の上昇など、畜産を取り巻く環境は依然として厳しい。そのような中で、飼養者の高齢化や後継者不足に伴い、廃業する農家は減少せず、本年度は19戸の減となった。

引受頭数では、乳用成牛4,726頭（前年対比95.9%）、乳用子牛等5,830頭（同98.6%）と減少した一方で、肉用牛等で、大規模農家の規模拡大等により頭数が増加し、肥育用成牛16,505頭（同102.3%）、肥育用子牛1,503頭（同134.8%）、他肉用成牛1,602頭（同104.4%）、他肉用子牛等1,837頭（同103.7%）となった。また、豚については、今年度導入された画像による事故確認方法及び事故限定方式での加入推進の結果、種豚では4戸が新規加入し、引受頭数2,182頭（同327.6%）、肉豚（農家単位）では1戸が新規加入し、引受頭数

11,038頭（同340.7%）と大きく増加した。肉豚（群単位）では廃業があったものの、頭数4,014頭（同102.6%）と若干の増加となり、全体としては、49,240頭（同125.5%）となった。

共済金額は、乳用成牛102,758万円（同96.0%）と減少したものの、乳用子牛等39,003万円（同110.7%）肥育用成牛314,773万円（同110.7%）、肥育用子牛13,116万円（同148.5%）、他肉用成牛43,469万円（同113.9%）、他肉用子牛等15,981万円（同122.6%）と増加した。また、豚では新規加入により、種豚で6,644万円増の7,842万円、肉豚（群単位・農家単位）で13,598万円増の20,464万円となり、全体としては、557,425万円（同112.6%）となった。

(参考)

区 分	乳用成牛	乳用子牛等	肥育成牛	肥育子牛	他肉成牛	他肉子牛等	一般馬	種 豚	肉 豚 (群単位)	肉 豚 (農家単位)
引受頭数前年対比	95.9%	98.6%	102.3%	134.8%	104.4%	103.7%	100.0%	327.6%	102.6%	340.7%
1頭当たり平均共済金額	217,431円	66,900円	190,713円	87,264円	271,340円	86,992円	69,600円	35,938円	13,600円	13,594円
1頭共済金額前年対比	100.1%	112.2%	108.2%	110.1%	109.2%	118.2%	79.0%	199.8%	141.7%	141.6%

(事故)

区 分	項 目	死 産 事 故			病 傷 事 故		摘 要
		死亡頭数	産用頭数	総 頭 数	件 数	支払共済金	
		頭	頭	頭	円	頭	円
乳 用 成 牛		217	195	412	74,605,861	4,516	82,815,250
乳 用 子 牛		4		4	387,239	83	957,920
乳 用 胎 児		349		349	21,796,277	929	9,946,550
肥 育 用 成 牛		217	76	293	59,708,182	1,917	28,099,070
肥 育 用 子 牛		119	3	122	12,242,441	2,346	24,462,330
他 肉 成 牛		33	11	44	10,394,221	975	11,303,320
他 肉 子 牛				0		23	325,800
他 肉 胎 児		66		66	6,132,254	428	5,149,070
一 般 馬						1	6,900
種 豚		35	5	40	958,186	34	354,910
肉 豚 (群 単 位)		457		457	5,638,615		
肉 豚 (農 家 単 位)							
種 雄 牛							
合 計		1,497	290	1,787	191,863,276	11,252	163,421,120

事故の概況

死産事故総頭数は、前年度より241頭減の1,787頭（前年対比88.1%）となり、支払共済金は23万円減の1億9,186万円（同99.9%）となった。

乳用成牛では、乳房炎が3頭減少したが、夏季の多雨高湿度の影響で、夏場の乳房炎は、依然として高い傾向があった。消化器病は15頭減少、運動器病は12頭増加し、一般損害防止事業での股裂き防止ベルト装着を推進し、今後も継続していく必要があると考えられる。

肉用牛では、呼吸器病が肥育用成牛で3頭、肥育用子牛で6頭減少、消化器病が肥育用成牛で14頭、肥育用子牛で2頭減少した。

平成27年5月より、牛白血病における“と畜後廃用事故”が共済事故の対象となり、乳用成牛で19頭、肥育用成牛で13頭、肥育用子牛で2頭と前年度より22頭増加した。また、種豚では大型農場2戸の新規加入等により前年度より22頭増加した。

本年度も、ボツリヌス症の集団発生があり、ワクチン接種、生菌剤投与により終息したが、今後も継続して組合員へ注意喚起していく必要がある。

病傷事故総件数は、前年度より849件減の11,252件（前年対比93.0%）となり、支払共済金は53万円増の1億6,342万円（同100.3%）となった。難治性の疾病により診療1件当たりの診療回数が多く、診療件数は減少したが、支払共済金はほぼ前年並みとなった。

乳用成牛では、乳房炎が165件減、消化器病が117件減少した。

肥育用成牛、肥育用子牛では、依然として呼吸器病が主要疾病を占めており、本年度は肥育用成牛が139頭増加し、大型農場での呼吸器病対策を今後も継続していく必要があると考えられる。

(損害防止)

特定損害防止

区分	項目	対象疾病	対象数 頭	経費概算 円	摘要
乳牛	繁殖障害		816	3,252,100	
	周産期疾患		414	2,726,540	
	乳房炎		1,013	3,021,150	
	運動器疾患		1,467	3,156,760	
	寄生虫性腸炎		239	589,790	
肉用牛	繁殖障害		263	1,178,000	
	運動器疾患				
	寄生虫性腸炎		526	1,136,460	
豚	繁殖障害				
その他経費					
合計			4,738	15,060,800	

一般損害防止

区分	項目	対象頭数 (回数)	実施内容	経費概算 円	摘要
健康検査		1,596	繁殖検診、乳房炎検査、BCS、代謝プロファイル、ビタミンA欠乏症検査	434,979	
予防衛生		96,855	畜舎消毒、暑熱対策、乳房炎予防、乳汁検査、寄生虫駆除、ビタミン補給、産後起立不能予防、繁殖障害予防、運動器予防、子牛疾病予防、尿石症予防、予防注射(豚丹毒、豚3種混合、牛イバラキ病、IBR、牛5種混合、牛6種混合、牛異常産3種混合、牛ヘモフィルス、牛大腸菌性下痢症、牛コロナウイルス感染症、牛下痢5種混合、マンヘミア・ヘモリチカ感染症、ボツリヌス感染症)等	6,679,618	
飼養管理指導		159	飼養管理指導、乳質改善、乳房炎管理指導、子牛呼吸器病予防指導、乳熱予防指導	2,882,000	削蹄奨励 5,764頭
講習会 講話会		11	乳質改善研修会、家畜の事故状況及び対策、分娩前後の飼養管理と繁殖について、ボツリヌス症について、肉用牛飼養管理	-	
計				9,996,597	

診療所

診療所名	獣医 職員数	管内		診療件数		損害防止事業							
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	特損実施内容			一損実施内容				
						種目	頭数	重点事項	経費概算 円	頭数	重点事項	経費概算 円	その他
東部	4.4	5,165	4,865	2,032	364	乳用牛	1,050	乳牛及び肉用牛	2,965,080	6,439	畜舎消毒の実施 暑熱対策	363,213	
中央	7.6	5,825	5,658	4,135	939	繁殖障害、周産期疾患、乳房炎、運動器疾患、寄生虫性腸炎	1,426	繁殖障害の検査及び処置、寄生虫性腸炎の検査と処置	5,367,150	8,360	寄生虫の検査と駆虫 乳房炎検査と搾乳衛生指導 プロファイルテストによる 周産期疾病の予防	864,500	
小豆出張所	1	578	561	279	64		161	乳牛	423,330	2,305	繁殖障害の検査と指導 子牛の健康検査、疾病予防 消化器病対策、呼吸器病対策	72,868	
中部	4.4	8,222	7,207	2,634	262	肉用牛	975	周産期疾患の検査及び処置指導、乳房炎の検査及び処置指導、運動器疾患の検査と処置	2,621,170	3,102	予防治射 飼養管理指導 事故対策の講習・講話会	1,110,988	
三豊	5.6	9,528	9,428	2,451	463	繁殖障害、寄生虫性腸炎	1,287		4,107,400	9,359	ボツリヌス症対策について 牛白血病対策について、巡回指導	497,314	
計	22	28,740	27,158	11,252	2,028		4,738		15,060,800	27,260		2,836,015	

(注) 管内有資格頭数、加入頭数は、乳用、肉用胎児及び肉豚を除く。

(3) 果樹共済関係

(引受)

うんしゅうみかん

区分		項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半 相 殺	減 収	平成 25 年度	高松	148	2,995.9	373,960	30,159,000			
			小豆	29	585.0	70,827	5,559,000			
			中讃	141	3,689.1	389,892	30,421,000			
			仲多度	56	1,358.4	188,303	14,991,000			
			三豊	393	14,195.3	1,963,592	154,451,000			
			計	延実 554	22,823.7	2,986,574	235,581,000	10,766,942	3,878,800	14,645,742
	総 合 一	平成 26 年度	高松	133	2,658.9	283,221	21,823,000			
			小豆	26	514.0	62,165	4,874,000			
			中讃	125	3,566.2	435,160	34,214,000			
			仲多度	45	1,010.4	138,039	10,707,000			
			三豊	366	13,333.6	1,580,180	123,396,000			
			計	延実 502	21,083.1	2,498,765	195,014,000	8,889,433	3,125,153	12,014,586
	殺 般	平成 27 年度	高松	123	2,451.5	272,842	21,021,000			
			小豆	25	498.1	61,130	4,799,000			
中讃			113	3,110.8	391,247	30,756,000				
仲多度			40	828.2	118,959	9,224,000				
三豊			334	12,191.5	1,489,087	116,183,000				
		計	延実 455	19,080.1	2,333,265	181,983,000	8,307,081	2,926,282	11,233,363	

(参考)

うんしゅうみかん	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	90.6%	90.5%	93.4%	93.3%	93.5%
事業計画対比		95.0%		94.3%	94.4%
10 a 当たり			1,223 kg	95,378円	

引受の概況

キウイフルーツ・ぶどう（災害収入方式）を除く8樹種において、栽培農家の高齢化・後継者不足に伴う栽培中止及び改植・廃園等により、うんしゅうみかん（前年比△47戸、△2,003.0a）、いよかん（同△3戸、△52.0a）、指定かんきつ（同△7戸、△160.2a）、ぶどう（同△14戸、△259.6a）、なし（同△1戸、△74.7a）、もも（同△15戸、△680.5a）、かき（同△11戸、△331.0a）、くり（同△1戸、△105.0a）と減少した。27年度よりスタートしたキウイフルーツ・ぶどう（災害収入方式）については、キウイフルーツで1,293.2a、ぶどうで224.3aの新規加入があった。総共済金額において553,059千円（前年比25,809千円増、同104.9%）となった。

いよかん

区分		項目		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半 相 殺	減 収	平成 25 年度	高松	3	43.0	3,513	155,000			
			中讃	8	114.0	8,935	397,000			
			三豊	6	61.3	3,459	151,000			
			計	延実 17	218.3	15,907	703,000	21,301	14,472	35,773
	総 合 一	平成 26 年度	高松	3	43.0	2,424	129,000			
			中讃	5	84.0	5,886	315,000			
			三豊	6	61.3	4,502	239,000			
			計	延実 14	188.3	12,812	683,000	20,643	14,091	34,734
	殺 般	平成 27 年度	高松	3	43.0	2,196	117,000			
			中讃	2	32.0	2,142	114,000			
			三豊	6	61.3	4,135	220,000			
			計	延実 11	136.3	8,473	451,000	13,410	9,141	22,551

(参考)

いよかん	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	78.6%	72.4%	66.1%	66.0%	64.9%
事業計画対比		85.2%		90.2%	90.2%
10 a 当たり			622kg	33,089円	

指定かんきつ

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半相殺	減収	平成25年度	高松	18	308.0	19,876	2,381,000			
			中讃	12	474.0	40,103	3,720,000			
			仲多度	3	31.0	2,928	255,000			
			三豊	57	1,662.7	112,694	13,725,000			
			計	延実 90	87	2,475.7	175,601	20,081,000	577,435	430,471
	総合一般	平成26年度	高松	18	308.0	15,057	1,802,000			
			中讃	10	402.0	25,855	2,282,000			
			仲多度	2	21.0	1,203	100,000			
			三豊	53	1,592.7	110,009	13,086,000			
			計	延実 83	80	2,323.7	152,124	17,270,000	495,568	369,504
	殺一般	平成27年度	高松	16	248.0	11,776	1,415,000			
			中讃	9	382.0	20,751	1,829,000			
仲多度			1	10.0	509	39,000				
三豊			49	1,523.5	91,230	10,968,000				
計			延実 75	73	2,163.5	124,266	14,251,000	411,021	307,101	718,122

(参考)

指定かんきつ	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	91.3%	93.1%	81.7%	82.5%	83.0%
事業計画対比		96.6%		95.9%	96.3%
10 a 当たり			574kg	65,870円	

ぶどう

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	kg	円	円	円	円
半相殺	減収総合一般	平成26年度	東部	8	109.5	8,859	4,428,000			
			高松	16	231.0	21,421	9,430,000			
			中讃	22	264.4	20,664	9,893,000			
			仲多度	7	177.0	10,435	3,822,000			
			三豊	153	2,184.0	171,690	83,875,000			
	計	延実 206	179	2,965.9	233,069	111,448,000	3,528,443	2,462,627	5,991,070	
	樹園地	一般	東部	2	30.0	2,345	1,302,000			
			中讃	9	260.6	30,134	15,778,000			
			計	延実 11	9	290.6	32,479	17,080,000	211,019	146,015
	半相殺	減収総合一般	平成27年度	東部	8	110.5	8,957	4,559,000		
高松				14	218.5	21,342	9,325,000			
中讃				21	268.1	21,643	10,334,000			
仲多度				3	76.0	3,372	1,001,000			
三豊				147	2,052.2	160,502	79,216,000			
計		延実 193	165	2,725.3	215,816	104,435,000	3,253,122	2,341,654	5,594,776	
樹園地		一般	東部	2	26.0	2,313	1,221,000			
			中讃	9	245.6	28,756	15,307,000			
			計	延実 11	9	271.6	31,069	16,528,000	202,743	138,844

(参考)

ぶどう半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金	ぶどう 樹園地	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	92.2%	91.9%	92.6%	93.7%	93.4%	前年度対比	100.0%	93.5%	95.7%	96.8%	95.7%
事業計画対比		97.3%		100.4%	99.9%	事業計画対比		100.6%		104.5%	103.2%
10 a 当たり			792kg	383,206円		10 a 当たり			1,144 kg	608,542円	

なし

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	減収総合一般	平成26年度	三豊	人 48	a 927.9	kg 130,692	円 24,672,000	円	円	円
			計	延実 28	927.9	130,692	24,672,000	1,332,427	355,399	1,687,826
			三豊	45	853.2	123,457	22,998,000			
		平成27年度	三豊	延実 45	853.2	123,457	22,998,000			
			計	27	853.2	123,457	22,998,000	1,238,150	327,414	1,565,564

(参考)

なし	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	96.4%	91.9%	94.5%	93.2%	92.8%
事業計画対比		95.9%		95.2%	94.7%
10 a 当たり			1,447 kg	269,550円	

もも

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	減収総合一般	平成26年度	東部	人 17	a 249.0	kg 17,609	円 3,902,000	円	円	円
			高松	13	322.4	21,331	4,788,000			
			中讃	128	2,753.6	230,649	51,456,000			
			仲多度	19	325.1	25,331	5,697,000			
			三豊	146	2,749.8	194,243	43,284,000			
			計	延実 323	6,399.9	489,163	109,127,000	3,940,654	2,352,706	6,293,360
			東部	16	223.0	13,961	3,080,000			
			高松	12	274.0	18,164	4,062,000			
			中讃	112	2,407.2	195,159	43,535,000			
		仲多度	16	286.3	19,622	4,406,000				
		三豊	135	2,528.9	166,067	36,978,000				
		計	延実 291	5,719.4	412,973	92,061,000	3,326,822	1,984,052	5,310,874	
		平成27年度	東部	17	249.0	17,609	3,902,000			
			高松	13	322.4	21,331	4,788,000			
			中讃	128	2,753.6	230,649	51,456,000			
			仲多度	19	325.1	25,331	5,697,000			
			三豊	146	2,749.8	194,243	43,284,000			
			計	延実 323	6,399.9	489,163	109,127,000	3,940,654	2,352,706	6,293,360
東部	16		223.0	13,961	3,080,000					
高松	12		274.0	18,164	4,062,000					
中讃	112		2,407.2	195,159	43,535,000					

(参考)

もも	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	92.0%	89.4%	84.4%	84.4%	84.4%
事業計画対比		93.5%		93.3%	93.3%
10 a 当たり			722kg	160,963円	

かき

区分			項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	減収総合一般	平成26年度	高松	人 31	a 1,239.6	kg 70,186	円 10,444,000	円	円	円
			中讃	39	1,086.5	63,465	8,869,000			
			仲多度	9	228.0	12,833	1,842,000			
			三豊	57	1,654.3	99,850	11,784,000			
			計	延実 136	4,208.4	246,334	32,939,000	1,596,164	850,673	2,446,837
			中讃	32	2,140.2	139,314	17,473,000			
		平成27年度	高松	30	1,214.6	71,861	10,705,000			
			中讃	35	997.5	61,282	8,568,000			
			仲多度	8	216.0	12,427	1,794,000			
			三豊	51	1,451.0	91,103	10,613,000			
			計	延実 124	3,879.1	236,673	31,680,000	1,530,217	816,243	2,346,460
			中讃	33	2,138.5	153,290	19,180,000			
樹園地	計	延実 33	2,140.2	139,314	17,473,000	550,406	283,057	833,463		
	計	延実 33	2,138.5	153,290	19,180,000	604,177	310,709	914,886		

(参考)

かき 半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金	かき 樹園地	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	91.0%	92.2%	96.1%	96.2%	95.9%	前年度対比	103.1%	99.9%	110.0%	109.8%	109.8%
事業計画対比		97.2%		98.2%	97.9%	事業計画対比		104.3%		110.9%	110.9%
10 a 当たり			610kg	81,668円		10 a 当たり			717 kg	89,689円	

く り

項目			組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
区分			人	a	kg	円	円	円	円
半 相 殺	26 年 度	東 部	13	613.0	4,570	1,544,000			
		計	延 実 13	613.0	4,570	1,544,000	66,392	28,873	95,265
	27 年 度	東 部	12	508.0	4,094	1,384,000			
		計	延 実 12	508.0	4,094	1,384,000	59,512	25,881	85,393

(参考)

く り	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	92.3%	82.9%	89.6%	89.6%	89.6%
事業計画対比		86.1%		93.5%	93.8%
10 a 当たり			81kg	27,244円	

ぶどう (災害収入方式)

項目			組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
区分			人	a	円	円	円	円	円
災 害 収 入	27 年 度	仲多度	9	224.3	8,511,055	6,806,000			
		計	延 実 9	224.3	8,511,055	6,806,000	200,638	108,754	309,392

(参考)

ぶどう災害収入	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	-	-	-	-	-
事業計画対比		112.2%		87.3%	72.1%
10 a 当たり			379,450円	303,433円	

キウイフルーツ (災害収入方式)

項目			組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	手持共済掛金
区分			人	a	円	円	円	円	円
災 害 収 入	平 成 27 年 度	高 松	11	181.6	10,250,589	8,197,000			
		小 豆	7	141.5	9,096,925	5,987,000			
		中 讃	2	25.8	1,650,408	1,319,000			
		仲多度	23	810.0	46,918,596	37,524,000			
		三 豊	10	134.3	10,351,483	8,275,000			
		計	延 実 53	53	1,293.2	78,268,001	61,302,000	1,348,644	-140,994

(参考)

キウイフルーツ	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	-	-	-	-	-
事業計画対比		132.0%		156.4%	181.1%
10 a 当たり			605,227円	474,033円	

(被害)

区分		項目		被害 組員数	被害面積	減収量	共済金	共済金 共済金額
				人	a	kg	円	%
平成 26 年産	うんしゅうみかん 半相殺	減収総合一般	高松	45	865.2	48,513	1,193,360	4.0
			小豆	9	175.3	8,461	205,050	3.7
			中讃	26	683.5	29,148	1,009,360	3.3
			仲多度	10	206.3	13,705	520,620	3.5
			三豊	107	4,903.5	267,003	8,025,420	5.2
			計	延実 174	6,833.8	366,830	10,953,810	4.6
平成 26 年産	いよかん 半相殺	減収総合一般	高松	0	0.0	0	0	0.0
			中讃	0	0.0	0	0	0.0
			三豊	0	0.0	0	0	0.0
			計	延実 0	0.0	0	0	0.0
平成 27 年産	指定かんきつ 半相殺	減収総合一般	高松	5	85.0	2,310	109,550	4.6
			中讃	3	120.0	4,707	155,250	4.2
			仲多度	0	0.0	0	0	0.0
			三豊	23	643.0	18,006	614,340	4.5
			計	延実 31	848.0	25,023	879,140	4.4
			計	31	848.0	25,023	879,140	4.4
平成 27 年産	ぶどう 半相殺	減収総合一般	東部	2	24.0	314	28,270	0.6
			高松	2	33.5	1,053	140,030	1.5
			中讃	7	65.9	2,254	459,480	4.6
			仲多度	5	127.0	2,695	197,280	5.2
			三豊	63	875.9	28,074	4,377,330	5.2
			計	延実 79	1,126.3	34,390	5,202,390	4.7
	樹園地	減収総合一般	東部	1	20.0	1,116	25,700	2.0
			中讃	1	5.0	304	72,600	0.5
			計	延実 2	25.0	1,420	98,300	0.6
			計	2	25.0	1,420	98,300	0.6
27 年産	なし 半相殺	合減一般総	三豊	31	661.4	40,159	3,411,830	13.8
			計	延実 31	661.4	40,159	3,411,830	13.8
平成 27 年産	もも 半相殺	減収総合一般	東部	8	149.0	5,158	493,560	12.6
			高松	5	142.0	4,206	396,880	8.3
			中讃	69	1,692.3	68,625	7,486,440	14.5
			仲多度	8	126.4	5,132	708,820	12.4
			三豊	50	1,210.1	43,345	5,834,800	13.5
			計	延実 140	3,319.8	126,466	14,920,500	13.7
平成 27 年産	かき 半相殺	減収総合一般	高松	14	432.6	10,693	696,960	6.7
			中讃	19	509.6	15,061	1,171,920	13.2
			仲多度	2	59.0	1,524	129,620	7.0
			三豊	18	518.5	16,936	1,255,800	10.7
	計	延実 53	1,519.7	44,214	3,254,300	9.9		
	樹園地	減収総合一般	中讃	14	383.1	15,235	723,590	4.1
計	延実 14		383.1	15,235	723,590	4.1		
27 年産	くり 半相殺	合減一般総	東部	6	313.0	1,207	159,340	10.3
			計	延実 6	313.0	1,207	159,340	10.3

被害の概況

【平成26年産うんしゅうみかん、いよかん、平成27年産指定かんきつ】

1月～3月にかけて降雪や低温で推移したことで着花不良となり、樹間・園地間で着果のバラツキが多く見られた。梅雨が高温少雨であったため生理落果が多くなった。7月と8月に接近した台風の影響でスレ果・傷果も多くなった。8月以降の多雨・日照不足から病虫害の発生を助長し、サビダニ・黒点病の被害をもたらした。獣害では、鳥しよ部ではシカの被害が著しく、イノシシ・サルは未だ衰えず、特にサルの被害は甚大である。

【ぶどう】

4月下旬～5月下旬は高温乾燥となり、花ぶるいが多く・小房傾向となった。7月16・17日に襲来した台風11号の風雨で、果実の脱粒・落果・落葉・棚の倒壊・枝折れが発生し大きな被害となった。梅雨期の多雨と度重なる降雨の影響により、灰色カビ病、べと病、うどんこ病の発生がやや多く見られた。獣害では、イノシシ・サル・ハクビシン・アライグマの被害も発生した。

【なし】

4月上旬から4月中旬にかけて、豊水や二十世紀の開花時期となり、低温・降雨により開花のバラツキ、着果数が少ない園地が見られた。7月16日から17日にかけて台風11号の暴風雨により果実の落下、傷果・スレ果・腐敗果が多発し甚大な被害を受けた。虫害では、ドクガ類や果実吸蛾、ナシヒメシクイによる被害果も見られた。鳥害では、カラス・ヒヨドリ等による被害も見られた。

(支払)

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				(再) 保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
半相殺減収総合一般	うんしゅうみかん	平成27年6月3日	10,953,810	44,458	10,909,352	0	0	0	100
	いよかん	-	0	0	0	0	0	0	100
	指定かんきつ	平成27年6月3日	879,140	0	879,140	0	0	0	100
	ぶどう	平成28年1月28日	5,202,390	0	5,202,390	0	0	0	100
	なし	平成28年1月28日	3,411,830	1,360,877	1,687,826	0	0	363,127	100
	もも	平成27年12月17日	14,920,500	6,819,032	6,293,360	0	0	1,808,108	100
	かき	平成28年2月25日	3,254,300	496,090	2,446,837	0	0	311,373	100
	くり	平成28年2月25日	159,340	44,744	95,265	0	0	19,331	100
	計		38,781,310	8,765,201	27,514,170	0	0	2,501,939	100
樹園地	ぶどう	平成28年1月28日	98,300	0	98,300	0	0	0	100
	かき	平成28年2月25日	723,590	0	723,590	0	0	0	100
	計		821,890	0	821,890	0	0	0	100

【もも】

4月上旬の降雨や低温の影響で、着果が減少する園地が見られた。5月下旬から6月上旬の降雨で急激に肥大した果実は核割れとなり、収穫直前に落果した園地が見られた。台風11号の暴風雨により、中生品種を中心に幹・枝折れ、果実の落果等により被害を受け大幅な減収になった。鳥獣害では、カラス・イノシシ・サルの食害の被害が見られた。

【かき】

7月16・17日の台風11号により落葉・落果・枝の損傷が園地で見られた。さらに台風11号の後から8月中旬までの少雨で小玉傾向だったが、8月中旬以降は一変して9月中旬まで多雨で推移したため、樹上軟化果・ヘタスキ果が多発し甚大な被害園地も見られた。また、降雨の影響から落葉病・炭そ病・ヘタムシガの多発園地も見られた。山間部においては、カラス・サルの食害が多く発生した。

【くり】

6月上旬から7月中旬及び8月下旬から9月上旬にかけて曇雨天による低温、日照不足の影響で肥大不良や未熟果・生理落果が多発し減収した。7月16・17日の台風11号、8月下旬の台風15号の暴風雨により落きゅう、枝折れ、幹折れが多発し減収した。イノシシやサルによる食害の園地が多発し甚大な被害を受けた。

(4) 畑作物共済関係
(引受)

畑作物区分		項目	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要	
			人	a	kg	円	円	円	円		
平成 27 年度	第一区分	大豆	東 部	14	1,831.7	12,944	1,650,006				
			高 松	39	529.6	4,519	3,742,788				
			中 讃	20	1,434.9	10,409	2,575,842				
			仲多度	59	1,237.5	10,006	5,278,522				
			三 豊	8	151.6	1,290	659,748				
			計	延 実	140 132	5,185.3	39,168	13,906,906	771,568	514,841	1,286,409
	第二区分	茶 (平成28年産)	高 松	2	120.0	-	147,000				
			仲多度	5	550.0	-	3,059,000				
			三 豊	1	39.6	-	263,000				
			計	実	8	709.6	-	3,469,000	129,573	72,341	201,914
平成 26 年度	第二区分	茶 (平成27年産)	高 松	4	175.0	-	237,000				
			仲多度	6	620.0	-	3,492,000				
			三 豊	4	181.7	-	1,302,000				
			計	実	14	976.7	-	5,031,000	187,915	104,915	292,830

(参考)

大豆

項目	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	96.4%	118.9%	106.4%	78.1%	82.7%
事業計画対比		117.8%		100.7%	98.3%
10 a 当たり			76kg	26,820円	

平成27年産大豆の引受戸数は、5戸減少し、132戸（前年産対比96.4%）となった。引受面積は8.2ha増加の51.8ha（同118.9%）、共済金額は389万円減少し、1,390万円（同78.1%）となった。

本年産大豆の引受は、経営所得安定対策の見直しに伴い、白大豆において、引受収量が分岐収量以下の農業者が多く「交付対象者以外」の単価で引受を行ったため、引受面積は増加したものの、共済金額は減少した。

茶

項目	組員数	引受面積	基準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	57.1%	72.7%	73.9%	69.0%	69.0%
事業計画対比		72.4%		69.0%	68.9%
10 a 当たり			248kg	48,887円	

平成28年産茶の引受は、高齢化及び価格低迷による栽培農家の減少に伴い、引受戸数は6戸減少し8戸（前年産対比57.1%）となった。引受面積についても2.6ha減少し、7.0ha（同72.7%）となった。共済金額は156万円減少し、346万円（同69.0%）となった。

(被害)

畑作物区分		項目	被害 組合員数	共済減収量 又は減収量	共済金	共済金		摘要
						共済金	共済金額	
			人	kg	円		%	
第一区分	大豆	東 部	5	631	79,098		4.8	
		高 松	4	206	136,687		3.7	
		中 讃	8	293	177,246		6.9	
		仲多度	14	384	266,303		5.0	
		三 豊	1	25	15,350		2.3	
		計	延 実	32 32	1,539	674,684		4.9
第二区分	茶 (平成27年産)	高 松	0	0	0		0.0	
		仲多度	0	0	0		0.0	
		三 豊	0	0	0		0.0	
		計	延 実	0 0	0	0		0.0

大豆の被害は、7月中旬の台風11号による降雨により、発芽直後及び生育初期に冠水し、枯死及び生育の悪い耕地が発生した。8月中旬から9月中旬の日照不足及び8月中下旬の花芽分化期から幼莢形成期にかけての長雨により過湿状態となり、根腐れ、落花、落莢及び結実不良が見られた。

また、8月上旬から10月にかけてハスモンヨトウやカメムシが発生したほか、山間地域ではイノシシによる獣害が発生した。

茶の被害は、生産金額の減少も含め、共済事故による被害は発生しなかった。

(支払)

畑作物区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
				円	円	円	円	円	円	%
第一区分	大豆		平成28年2月29日	674,684	0	674,684	0	0	0	100
第二区分	茶		-	0	0	0	0	0	0	-
	計			674,684	0	674,684	0	0	0	100

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分	項目	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
ガラス室	I類								
	II類	32	98	51,796	545,998,000	436,728,000			
プラスチックハウス	I類								
	II類	902	2,251	696,211	1,462,339,000	1,168,564,000			
	III類	405	560	431,160	1,599,198,000	1,279,029,000			
	IV類甲	140	195	198,096	911,197,000	728,825,000			
	IV類乙	40	56	46,430	276,073,000	220,820,000			
	V類	24	32	26,915	180,812,000	144,628,000			
	VI類	42	317	60,330	126,862,000	101,157,000			
VII類	3	3	930	952,000	759,000				
計		延実 1,588 1,353	3,512	1,511,868	5,103,431,000	4,080,510,000	※1 22,841,428	※2 15,656,879	38,498,307

園芸施設共済の補償拡充に伴う制度改正による切替後の返還金等の内訳
 ※1 切替前の共済掛金農家負担額 23,023,941 円 ※2 切替前の連合会等交付金 15,766,015 円
 切替による共済掛金農家負担額返還金 182,513 円 切替による連合会等交付金返還金 109,136 円

支所	項目	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
東	部	275	630	255,774	886,916,000	709,219,000			
高	松	175	405	190,776	564,386,000	451,308,000			
小	豆	89	162	93,475	330,044,000	263,933,000			
中	讃	267	528	261,666	828,106,000	662,133,000			
仲	多	257	755	211,783	665,280,000	531,602,000			
三	豊	525	1,032	498,394	1,828,699,000	1,462,315,000			
計		1,588	3,512	1,511,868	5,103,431,000	4,080,510,000	22,841,428	15,656,879	38,498,307

(参考)

施設区分	項目	1棟当たり平均		
		共済価額	共済金額	付保割合
ガラス室	I類			
	II類	5,571,408	4,456,408	80.0
プラスチックハウス	I類			
	II類	649,640	519,131	79.9
	III類	2,855,711	2,283,980	80.0
	IV類甲	4,672,805	3,737,564	80.0
	IV類乙	4,929,875	3,943,214	80.0
	V類	5,650,375	4,519,625	80.0
	VI類	400,196	319,107	79.7
VII類	317,333	253,000	79.7	
計(平均)		1,453,141	1,161,876	80.0

(参考)

項目	組員数	引受棟数	設置面積
前年度対比	94.2%	94.3%	96.5%
事業計画対比		95.4%	

引受の概況

平成27年度の引受状況は、平成27年2月1日以降に共済責任期間が開始する棟において、園芸施設共済の補償拡充に伴う制度改正が行われ、主要型式における耐用年数の延長と時価現有率の見直し等により補償範囲が拡大したことで、共済金額、共済掛金等で前年度を大幅に上回る実績となった。一方、補償範囲の拡大を受けて農家負担額の増加となったことで加入意識が低下し加入率の低下につながった。

平成27年度の引受実績については、戸数 1,588戸(△98戸、前年比 94.2%)、棟数 3,512棟(△214棟、同94.3%)、面積 1,511,868m²(△55,258m²、同96.5%)、共済金額 40億8,051万円(14億7,737万円増、同156.8%)となった。制度改正以降、共済責任期間中の旧制度から新制度への切替を行った棟数は 164棟となった。

(被害)

施設区分		被 害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室	I 類												
	II 類	1	1		125,263						100,210	100,210	0.02
プラスチックハウス	I 類												
	II 類	242	370		37,123,214	29,190,385		120,369			347,787	29,658,541	2.54
	III 類	126	136		14,137,667	10,355,280		119,850			831,812	11,306,942	0.88
	IV類甲	29	34	1	4,859,486	3,150,475			336,061		400,299	3,886,835	0.53
	IV類乙	5	5		430,233	205,166					139,019	344,185	0.16
	V 類	3	4		458,927	367,141						367,141	0.25
	VI 類	4	4		1,665,556	1,331,414						1,331,414	1.32
計		410	554	1	58,800,346	44,599,861	0	240,219	336,061	0	1,819,127	46,995,268	1.15

支 所		被 害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東	部	45	65		5,826,000	4,654,456						4,654,456	0.66
高	松	34	51		5,490,328	4,265,540		120,369				4,385,909	0.97
小	豆	8	10		631,241	504,705						504,705	0.19
中	讚	97	132	1	19,120,353	14,949,646			336,061			15,285,707	2.31
仲	多	69	97		8,812,491	7,041,853						7,041,853	1.32
三	豊	157	199		18,919,933	13,183,661		119,850			1,819,127	15,122,638	1.03
計		410	554	1	58,800,346	44,599,861	0	240,219	336,061	0	1,819,127	46,995,268	1.15

被害の概況

平成27年度の主な被害発生状況は、7月17日に台風11号（最大瞬間風速26.4m/s）が本県を直撃したことで444棟に本体及び被覆材等の被害が生じ、支払共済金は3,939万円となった。そのうち全損被害は23棟（支払共済金 500万円）となった。また、平成27年2月1日以降の新制度で共済責任期間が開始した棟の被害は 162棟（同 1,659万円）うち全損 9棟（同 239万円）となり、新たに補償の拡充となったパイプハウスに適用する撤去費用支払対象棟について

は2棟（同 24万円）となった。

平成27年度の被害棟数は合計で 554棟、支払共済金は4,699万円となった。

共済事故別支払状況は、風害 544棟（支払共済金 4,542万円）、単独病虫害による施設内農作物の被害 10棟（同157万円）となり、病虫害被害10棟の内訳は、菊 6棟（同 74万円）、トマト 2棟（同 37万円）、ナス 1棟（同 40万円）、ハウスメロン1棟（同 6万円）となっている。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共 済 金
円	円	円	円	円	円	%
46,995,268	5,674,945	34,529,331	6,790,992	0	0	100

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

支 所	項 目	引受棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり 平均共済金額	再共済掛金	再共済手数料
				純共済掛金	賦課金	合計			
		棟	千円	円	円	円	円	円	円
東	部	14,365	174,384,230	98,398,029	67,899,171	166,297,200			
高	松	23,119	314,766,770	150,697,458	116,382,623	267,080,081			
小	豆	1,810	20,313,690	11,100,018	7,222,476	18,322,494			
中	讃	20,246	252,216,370	124,601,617	95,216,005	219,817,622			
仲	多	17,789	209,540,460	100,619,806	76,590,249	177,210,055			
三	豊	30,877	398,509,350	189,622,080	145,283,777	334,905,857			
	計	108,206	1,369,730,870	675,039,008	508,594,301	1,183,633,309	12,658,548	355,077,534	136,572,503

(注) 再共済割合30%、再共済手数料割合：総合共済15.50% 火災共済40.50%

引受の概況

火災共済では、加入棟数が104,213棟（対前年度 3,948棟減少、96.3%）で、共済金額は1兆3,352億円（同 520億円減少、96.2%）である。

総合共済では、加入棟数が3,993棟（同 22棟増加、100.6%）で、共済金額は 344億円（同 2.7億円増加、100.8%）である。

建物共済全体では、加入棟数が108,206棟（同 3,926棟減少、96.5%）で、共済金額は1兆3,697億円（同 517億円減少、96.4%）となった。

(参考)

項 目	共済金額 (千円)	前年度対比 (%)	事業計画対比 (%)	1 組合員当たり 共済金額 (円)
総 合	34,482,100	100.8	101.3	
火 災	1,335,248,770	96.2	100.8	
計	1,369,730,870	96.4	100.8	28,488,579

(事故関係)

支 所	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)				再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)
				火災	拡張担保	自然災害	合計		
		棟	千円	円	円	円	円	円	%
東	部	39	364,730	16,411,636	446,397	2,941,356	19,799,389		5.4
高	松	34	435,070	47,443,179	1,924,581	1,632,353	51,000,113		11.7
小	豆	4	41,000	653,215	21,445	481,777	1,156,437		2.8
中	讃	32	402,310	66,103,993	750,574	4,795,885	71,650,452		17.8
仲	多	34	430,080	73,053,574	1,460,113	3,860,213	78,373,900		18.2
三	豊	60	567,540	69,612,088	2,124,409	2,341,356	74,077,853		13.1
	計	203	2,240,730	273,277,685	6,727,519	16,052,940	296,058,144	88,817,349	13.2

事故の概況

事故については、182件、203棟（前年度 175件、201棟）が罹災し、2億9,605万円（前年度対比 72.2%）の共済金を支払いした。

事故原因別として火災事故では、31件、33棟となり、前年度（41件、53棟）より10件、20棟減少した。内訳として、火の粉による原因 5棟、電気器具 4棟、コンロ 3棟、ストーブ 3棟、類焼 3棟 等となり、全損事故は 10戸、13棟（前年度 11戸、15棟）となった。

車両等の衝突や落雷等の拡張担保では、62件、65棟となり、前年度（105件、118棟）より 43件、53棟減少。車両等の衝突 23棟（前年度 31棟）、落雷においては大きく減少し 20棟（前年度 66棟）となった。

自然災害は、89件、105棟と前年度（29件、30棟）より60件、75棟増加。主な原因としては、平成27年7月17日に襲来した台風11号で 83件、99棟が罹災した。

建物共済原因別事故発生状況

事故の原因別	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		棟	千円	円	円	%	
失	火	30	487,900	271,248,828		55.6	
類	焼	3	11,720	2,028,857		17.3	
そ	の	65	846,340	6,727,519		0.8	
火	災	計	98	1,345,960	280,005,204	20.8	
風	水	105	894,770	16,052,940		1.8	
	計	203	2,240,730	296,058,144	88,817,349	13.2	

2 農機具損害共済

(引受関係)

項目 支所別	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1 台 当 たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	千円	円	円	円
東 部	3,918	8,691,860	26,468,116	8,189,426	2,218,443
高 松	4,802	10,823,100	32,345,687	10,057,409	2,253,873
小 豆	216	268,460	843,134	244,795	1,242,870
中 讃	3,656	8,894,730	26,303,396	8,265,123	2,432,913
仲 多 度	2,478	6,110,160	18,792,998	5,820,166	2,465,763
三 豊	6,778	15,183,700	44,891,825	14,170,845	2,240,145
計	21,848	49,972,010	149,645,156	46,747,764	2,287,258

(注) 総共済掛金 196,392,920 円

引受の概況

農機具損害共済の引受台数は、21,848台で前年度(22,232台)より384台減少し前年度対比98.3%となった。共済金額は499億7,201万円となり、前年度(500億2,579万円)より5,378万円減少し、前年度対比99.9%となった。

機種別加入台数状況は、乗用トラクター、自脱型コンバイン、田植機の主要3機種で全体の86%を占めている。

(事故関係)

項目 支所別	事故台数	加入総共済 金額(イ)	支払共済金(ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)	備考
東 部	295	1,055,130	29,592,159	2.8	
高 松	257	993,660	21,254,092	2.1	
小 豆	9	11,460	488,860	4.3	
中 讃	202	723,940	23,458,132	3.2	
仲 多 度	172	609,530	13,610,519	2.2	
三 豊	489	1,747,710	60,688,631	3.5	
計	1,424	5,141,430	149,092,393	2.9	

事故の概況

事故台数は、1,424台で前年度(1,370台)より54台増加し、前年度対比103.9%となった。支払共済金は1億4,909万円となり、前年度(1億3,460万円)より1,449万円増加し、前年度対比110.8%となった。

機種別事故台数は、自脱型コンバイン648台(前年度698台)、乗用トラクター589台(同530台)、田植機85台(同58台)でこの3機種で全体の92.8%を占めた。

原因別事故台数は、稼働中の事故1,400台(前年度1,349台)、火災等の事故22台(同20台)、自然災害の事故2台(同1台)となった。稼働中の事故の主な内訳は、衝突・接触1,282台(前年度1,287台)、墜落・転覆44台(同37台)、異物の巻込38台(同19台)となった。

(参考)

項目	加入台数	共済金額	1台あたり 平均共済金額
	%	%	%
前 年 度 対 比	98.3	99.9	101.6
事 業 計 画 対 比	100.3	101.0	100.7

農機具損害共済原因別事故発生状況

項目 事故の原因別	事故台数	加入総共済 金額(イ)	支払共済金(ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)
衝 突 ・ 接 触	1,282	4,700,400	102,815,657	2.2
墜 落 ・ 転 覆	44	88,290	15,058,054	17.1
異 物 の 巻 込	38	164,340	6,251,363	3.8
火 災 等 の 事 故	22	68,350	18,374,762	26.9
そ の 他 稼 働 中	36	115,550	4,507,993	3.9
自 然 災 害	2	4,500	2,084,564	46.3
計	1,424	5,141,430	149,092,393	2.9

機種別支払共済金は、自脱型コンバイン6,314万円(前年度7,242万円)、乗用トラクター6,116万円(同5,040万円)、田植機689万円(同404万円)となった。

原因別支払共済金は、稼働中の事故1億2,863万円(前年度1億2,708万円)、火災等の事故1,837万円(同737万円)、自然災害の事故208万円(同13万円)となった。

全損事故は11台、支払共済金は2,577万円(前年度7台1,007万円)となり、台数は4台増加し、支払共済金は1,570万円増加した。内訳は盗難3台、993万円、墜落3台、710万円、火災3台、660万円、土砂崩れ1台、200万円、衝突1台、14万円である。

損害率(支払共済金/純掛金)は99.6%(前年度90.2%)となった。

(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

支所別	項目	加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		賦課金
					純共済掛金		
					損害部分	減価部分	
		台	千円	千円	円	円	円
東部		7	20,800	20,800	61,775	2,624,105	83,200
高松		41	65,500	64,400	194,697	9,035,650	262,000
小豆							
中讃		15	32,860	32,860	97,599	4,789,787	131,440
仲多度		18	49,880	46,720	148,199	5,596,665	199,520
三豊		13	41,350	40,850	122,828	4,854,442	165,400
計		94	210,390	205,630	625,098	26,900,649	841,560

(注) 総共済掛金 28,367,307 円

引受の概況

更新共済の引受台数は94台で前年度(121台)より27台減少し、前年度対比77.7%となった。共済金額は2億1,039万円となり、前年度(2億6,471万円)より5,432万円減少し、前年度対比79.5%となった。

機種別加入台数状況は、乗用トラクター、自脱型コンバイン、田植機の主要3機種で全体の59.6%を占めている。

(事故関係)

支所別	項目	事故台数	期間満了台数	加入総共済金額(イ)	支払共済金		被害率(ロ)/(イ)
					衝突・接触(ロ)	期間満了	
					円	円	
東部		台	台	千円	円	円	%
			1	500		500,000	
高松		2	8	20,020	75,222	17,270,000	0.4
小豆							
中讃			6	9,750		9,750,000	
仲多度		4	8	28,450	264,212	12,050,000	0.9
三豊		1	4	16,400	38,361	11,400,000	0.2
計		7	27	75,120	377,795	50,970,000	0.5

事故の概況

事故によるものが7台、支払共済金377,795円(前年度9台、922,826円)となり前年度より2台減少し、支払共済金も545,031円減少となった。

減価共済金(期間満了)は、27台、5,097万円(前年度31台、6,517万円)となり、前年度より台数で4台減少し、減価共済金も1,420万円減少となった。

(参考)

項目	加入台数	共済金額	1台当たり平均共済金額
前年度対比	%	%	%
	77.7	79.5	102.3
事業計画対比	98.9	99.4	100.4

(参考)

項目	加入台数	共済金額	1台当たり平均共済金額
前年度対比	%	%	%
	79.6	78.7	98.9
事業計画対比	110.0	109.1	99.2

農機具更新共済原因別事故発生状況

項目	事故台数	加入総共済金額(イ)	支払共済金(ロ)	被害率(ロ)/(イ)
事故の原因別	台	千円	円	%
衝突・接触	9	35,800	922,826	2.6
計	9	35,800	922,826	2.6